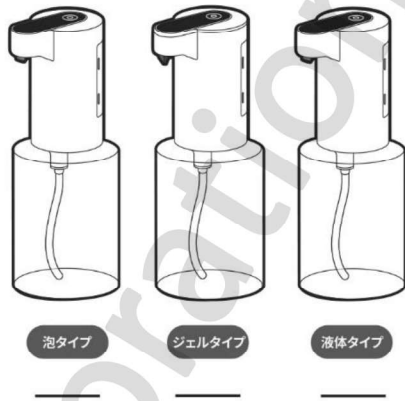


# オートディスペンサー

## 取扱説明書



### 製品仕様

タンク容量	350mL
製品型番	KW-1908
製品素材	ABS+PET
動作電圧	DC 6.0V
対応電池	単4形 アルカリ電池 4本
サイズ	奥行79×幅69×高さ193mm

※ 製品な更新や改良により、一部の仕様は予告なく変更される場合があります。

### 使用方法 (ジェルタイプ)

- 電源がOFFになっている事を確認して、反時計回しで取り外します。
- ジェルタイプのハンドソープや食器用洗剤をタンクに注ぎます。
- センサー感知範囲 (約2~3cm)
- 本体上面にあるスイッチを長押しすると、センサーライトが約2秒間点灯し、ディスペンサーが「オン」状態になります。次回使用するときに再度起動する必要はありません。

・消毒用アルコールなど揮発性の高いものを使用する時は、近くに火や高温になるものがないことを確認して下さい。  
・小さなお子様を使用される場合は大人の目の届く範囲でご使用下さい。  
・設置場所は十分な空間を確保してご使用下さい。

手がセンサーの感知範囲に入ると中身が吐出されます。(この時、上面のセンサーライトが点灯します。)

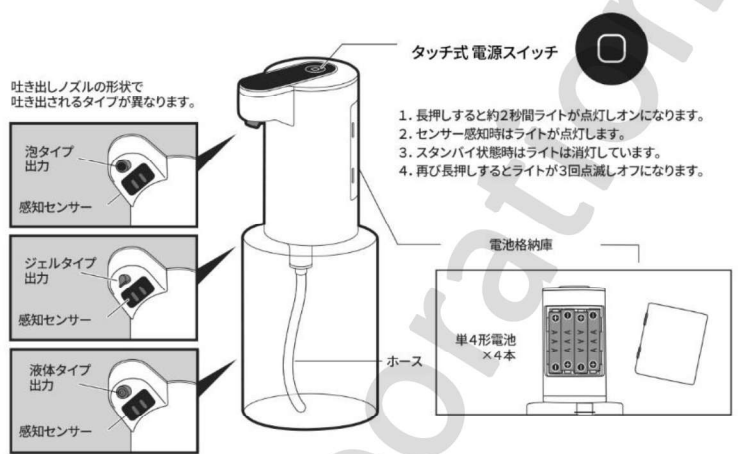
### 使用方法 (液体タイプ)

- 電源がOFFになっている事を確認して、反時計回しで取り外します。
- 消毒用アルコールなど液体タイプの液剤をタンクに注ぎます。
- センサー感知範囲 (約2~3cm)
- 本体上面にあるスイッチを長押しすると、センサーライトが約2秒間点灯し、ディスペンサーが「オン」状態になります。次回使用するときに再度起動する必要はありません。

・消毒用アルコールなど揮発性の高いものを使用する時は、近くに火や高温になるものがないことを確認して下さい。  
・小さなお子様を使用される場合は大人の目の届く範囲でご使用下さい。  
・設置場所は十分な空間を確保してご使用下さい。

手がセンサーの感知範囲に入ると中身が吐出されます。(この時、上面のセンサーライトが点灯します。)

### 各部名称



### 使用方法 (泡タイプ)

- 電源がOFFになっている事を確認して、反時計回しで取り外します。
- 泡タイプのハンドソープや食器用洗剤をタンクに注ぎます。
- センサー感知範囲 (約2~3cm)
- 本体上面にあるスイッチを長押しすると、センサーライトが約2秒間点灯し、ディスペンサーが「オン」状態になります。次回使用するときに再度起動する必要はありません。

泡になりにくい場合は水で希釈するなど調整してください。  
濃度が薄いと泡が出にくくなり、濃度が濃いとお泡状にならなくなります。

泡タイプのハンドソープや食器用洗剤をタンクに注ぎます。

手がセンサーの感知範囲に入ると中身が吐出されます。(この時、上面のセンサーライトが点灯します。)

### 注意事項

- 安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください**
- ディスペンサーが機能しない場合は、+極と-極が正しく取り付けられていないか、古い電池が使用されていないかを確認してください (製品名称の電池の取り付け方法を参照してください)。また、異なる電池を混合することはできません。
  - シリコン電池や充電式電池は使用しないでください。  
※過電流、過電圧により発火する恐れがあります。
  - 本製品を分解または改造しないでください。  
※感電、ショート、火災の原因となります。
  - 製品を適切な場所に置き、湿気にさらさないでください。これにより、製品の寿命が短くなります。  
長期に使用しない場合は電池を取り外してください。
  - 使用するときは、センサー部分が水滴や泡などで覆われていないことを確認してください。
  - 手指消毒剤を追加するときは、破片がディスペンサーを詰まらせないように、破片がボトルに入らないようにしてください。直射日光や熱源を避けてください。
  - タッチ式のセンサースイッチを使用した製品です。接触ボタンが敏感でない場合は、ボタンの周りの水滴を拭き取り、押し方を調整します。
  - 長期間使用しないと、液体やジェルが乾燥してホース内で固まる可能性があります。正常に吐出されるように、液体やジェルが溶けるまで温水などで繰り返しすすいでください。(液体・ジェルモデルの場合)
  - ショートするのを防ぐため、機械を水に浸したり、水で直接洗ったりしないでください。清掃が必要な場合は、本機の電源を切った後、濡れたタオルで本機の表面を拭いてください。電池格納庫の清掃には、乾いたタオルのみを使用してください。
  - 消毒剤が機械にあるときは、機械を傾けないでください。
  - 本製品に機械的な圧力をかけないでください。
  - 慎重に置いてください。落下すると機械が損傷する可能性があります。
  - 機械の故障を引き起こさないように、交換に不適切な液体を使用しないでください。
  - 目に見える損傷の兆候がある場合は、使用しないでください。また、機械が水に落ちた場合は、使用しないでください。
  - 可燃性の液体や腐食性の化学物質をボトルに注がないでください。

※ 本取扱説明書を読んで、安全にご使用下さい。



- ① スイッチをOFFにしてから、タンク部分から取り外します。



- ② 両手でしっかりと固定して、電池ボックスのカバーにあるくぼみに親指のつまめがかかるようにします。



- ③ 下に押し込みながら、手前に引くとカバーが取れます。

### 【電池を交換する時の注意事項】

- 防水機能維持のためにも、電池を交換した後はしっかりとカバーを取り付けて下さい。
- 電池交換する時は濡れた手では行わないで下さい。感電するおそれがあります。
- 電池は単4形のアルカリ電池を使用して下さい。充電式電池では動作しません。
- 水滴などが付いている場合、感電しないよう乾いた布などで拭き取ってください。
- 長期間使わない場合は、電池を取り外してください。